

capter

#02

# 製造業でテレワーク?

## 製造業のモノづくりとテレワーク

### 製造業のテレワークとは。 テレワークでモノづくり・非現実的?

この度、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大をうけ、多くの都道府県に対して緊急事態宣言が発令されました。外出の自粛と併せて、企業に対しては、出社を最低でも7割減らすように要請がされ、テレワークの利用が推奨されております。これは製造業においても例外ではなく、テレワークを検討しなければならない状況となりました。

しかし、製造業のテレワークとは何でしょうか。

オフィス業務のテレワークは現実的です。仕組みさえ構築すれば、実行することが可能でしょう。では、オフィス業務が中心でない現場作業員の方々はどうでしょうか。

モノづくりするにあたって、大型の機械、試験設備、専用治具など製品開発に必須の設備は出社しなければ使えず、現場にいなければ作業が進行しない場合がほとんどだと思われます。

のことから現実的に、製造現場におけるテレワークの実行は難しいと言えるでしょう。だからといって、何もしないというわけにもいきません。このコロナ渦の中、そしてアフターコロナを見据えて、対策を講じることは会社としてのイメージアップや作業員の働くことへの不安解消にもつながります。

このようにテレワークが出来ない環境で、【どのように】【どんな】対策を講じていくかは非常に難しいテーマであり、重要となっております。

弊社は、テレワークが出来ない環境での取り組みを  
サポートするシステムをご提案しております。



## 弊社が考える対策

新型コロナウイルス(COVID-19)への対策は本来、テレワークを行うことが目的ではなく、いかに人との接触を避けるか。が真の目的にあります。

したがって、労働生産性を維持しつつ…



輪番対応などにより製造現場作業員に対して、一日当たりの出社人数を少なくすればよい。

そこでシステム化を図り、作業の効率化による合理化を目指します。  
アフターコロナにおいても、継続的に実現できれば高い生産性が確保できます。

## 想定される導入効果

- 作業分析によるアイドルタイムの削除
- 資金繰り改善による、汎用設備への投資
- 機械稼働状況のモニタリングから
  - ▶ 予備保全計画による取出社人員計画
  - ▶ 設備に対するオペレーター張り付きの削減
- 作業分析によるアイドルタイムの削除

現状調査、分析、システム提案まで弊社にお任せください。

40年超の製造業への改善システムを導入してきたトスバックだから  
実現できます。

弊社は、テレワークが出来ない環境での取り組みを  
サポートするシステムをご提案しております。

関心をお持ちいただけましたら、下記までご連絡ください。

株式会社 神奈川トスバック 〒231-0032 横浜市中区不老町1丁目1番地5号  
横浜東芝ビル7F

045-662-1335 トスバック

検索

<http://tosbac.co.jp>